



KOMEITO

公明党 福井市議会議員

## 津田かおり

VOL 17 2024 冬

通信



## 12月議会での一般質問

1. 中学校部活動の地域移行
2. こども食堂等への支援の現状と今後の取組み
3. 女性特有のがん対策

--- 概要は次項へ ---

## 電子図書館の導入

2021年3月・2023年6月と9月の議会ですでに全国的に広がっている「電子図書館サービス」の導入を要望していました。

昨秋より、まずは視聴覚や心身など様々な障がいをお持ちの方へ向けて、導入されました。



導入された図書館は「みどり図書館」と「桜木図書館」、最初は登録が必要なため、障がいを持っている友人と一緒に「みどり図書館」へ行ってきました。

登録をするとスマホなどで24時間いつでも、貸出・返納ができるようになります。「大好きな推理小説をスマホから手軽に音声で聴けるのが楽しみ」と語っていました。



## 投票支援カードが導入されました！

(市政広報等と一緒に各家庭に配布されました。)

**投票所での困りごと、サポートします**

投票所では、投票者が困った際にお助けできるよう準備しています。投票所が困った時、お気軽に投票所の係員にご相談ください。投票を支援します。

- 眼鏡を忘れてしまっ、文字が良く見えない...
- 目が見えなくて、点字で投票したいのですが...
- 手を震えて、文字がかけません
- とにかく助けが必要です...
- 話せないで、筆談したいです
- 困っていることを伝えることが難しいです

**投票支援カード**

このカードを投票所の係員に渡してください。係員が投票をお手伝いします。

あなたがしてほしいことを選んでください。

☐ 投票用紙に代わりを書いてほしい。(代筆してほしい)

☐ そのほかの手伝ってほしいことを書いてください。

ほか

(例)・ゆっくり読んでほしい。

・文字を大きくしてほしい。

・コミュニケーションボードを使ってほしい。(筆談してほしい)

・投票所内を誘導(案内)してほしい。

※ このカードではなく、口頭でもお手伝いします。

昨年の9月議会において身体や心に障がい等を持っている人や高齢者などの投票を支援するカードの導入を要望していましたが、昨年12月に行われた福井市長選挙から導入されました。

自宅の電話(FAX)番号が変わりました(1月1日~)

新番号 0776-84-0747

市民相談 1,450 件超えました  
(2019年4月~)

市民の皆様からの様々なご要望ご相談に、速やかに対応させていただきます！

LINEでも  
お気軽に！〒910-0065  
福井市八ツ島町 15-1-4

電話・FAX 0776-84-0747

E-mail kaoritsuda2018@yahoo.co.jp

しゅつだ！  
がっつだ！津田かおり  
ホームページ



## 中学校部活動の地域移行 について

Q 地域移行への現在の進捗状況と取り組み状況は？

A 昨年度から、剣道をモデル事業として位置づけ、土曜日に県立武道館を活動場所として取り組んでいる。さらに今年度は、一部の中学校の体育館を利用し、活動場所の分散を図ることで、保護者の送迎の負担軽減や生徒が参加しやすい環境づくりを進めている。今後の地域移行の進め方として、全ての部活動を地域の方々に担っていただくことは難しいので、地域のスポーツ・文化芸術団体の活動に参加できるように調整したり、小学生から中学生への継続への環境を整えていく。

Q 働き方改革や少子化で廃部や休部となり、自分の学校でやりたい部活がない場合、市内中学校の連合チームを作り中体連に参加できないか。特に中体連の参加登録を行わないクラブチームもあるので参加できるように求める。

A 野球などで現在も連合チームを作っている。今後も希望する生徒の活躍の場を作れるようにしていきたい。

Q 学校教育の場である中体連の試合でヤジを飛ばす、暴言を吐くなどの行為が見受けられる。クラブチームの監督や指導者のための指導マニュアルや研修はあるか？

A 市独自のマニュアルや研修はない。但し中体連の大会参加にあたっては、国のガイドラインの遵守、暴言、暴力、行き過ぎた指導やハラスメント等が起こらない活動することとなっている。

Q 民間のクラブへの会費など、保護者の負担はやむを得ないが、困窮世帯への支援が必要と考えるが？

A 国の実証事業において、生活困窮世帯への参加費用負担支援等が挙げられている。市として県内市町の動向を注視して検討していく。

Q 地域移行により、責任主体が曖昧にならないよう学校教育との関係を明確にすることが大切と考えるが？

A 休日の活動については、今後、学校教育ではなく社会教育に変わるため、責任主体についても地域で活動しているスポーツクラブや文化芸術の団体等になるものと考えている。



## こども食堂への支援の現状と今後の取り組み について

Q こども食堂の現状とこれまでの取り組み、補助金支出件数の推移

A 虐待の早期発見や居場所づくりを目的に、2021年度から、食事の提供や学習支援を通じて、こどもの見守りを実施する団体への補助を行っている。2022年度からは、こども食堂などを増やすための立ち上げ支援も実施している。現在、約20の団体が、こども食堂などの活動に取り組んでいる。子ども食堂などの利用人数は、大人も含めた延べ人数で、2021年度は3,571人、2022年度は6,098人。補助金支出件数は、2021年度は3団体に対し997万7千円、2022年度は11団体に対し、681万2千円、今年度は12団体に対し、842万円の補助を交付決定した。

Q こども食堂の継続に向けた支援の必要性への所見は？

A 資金・物資ボランティアの確保などが課題となっている。現在、団体の立ち上げのための支援を行っているが、収益の確保は難しく継続的な支援が必要国の「こどもの居場所づくりに関する指針」より、その動向を注視していきたい。物資やボランティアの確保については、今年12月に補助事業を活用しているこども食堂等を集めた会議を開催し、そこで情報共有を図りながら団体同士が、お互いに協力し合えるネットワークづくりに取り組む予定。さらに、令和3年度からこども食堂をテーマにした講座も実施している。

Q 児童虐待への対応など、セーフティネット機能を強化する上でのこども食堂との連携についての所見は？

A 児童虐待への対応は、早期発見がカギとなるため、こどもの見守り活動に取り組む団体との連携が重要となる。今後は、これらの団体をさらに増やしていきたい。

Q 国の補助事業などの活用状況は？

A 国庫補助金や臨時交付金、企業版ふるさと納税を財源として充てており、今年度も新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金を活用し、引き続き、こどもの見守りを支援している。

11月13日一般  
質問動画はこちら



こどもをしっかりと守る社会に



## 女性特有のがん対策 について

Q 子宮頸がん・乳がん検診の受診率の推移と今後の受診率向上への取り組みは？

A 子宮頸がん検診の受診率は・・・

2018年度=79.1% 2019年度=79.4% 2020年度=76.7% 2021年度74.7% 2022年度90.6%

乳がん検診の受診率は・・・

2018年度=63.8% 2019年度=65% 2020年度=59.2% 2021年度57.7% 2022年度75.2%

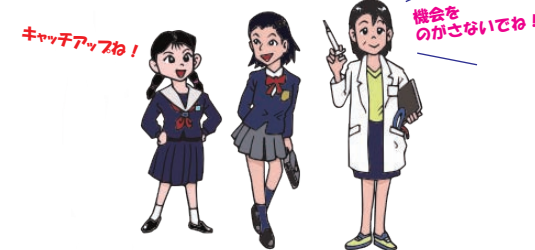
新型コロナウイルスの影響で受診率が低下していた。2022年度は回復し、国の目標値を上回っている。

受診を促す取り組みとして、対象者全員に受診券の送付、子宮頸がんは21歳、乳がんは41歳になる方に無料クーポンを送付している。また働く女性に対し、集団検診を土日にも実施、さらに乳がん検診については未受診者に対して、毎年10月末に受診再勧奨の通知をしている。今後の更なる取り組みとしてナッジ理論を活用し、より効果的な受診勧奨の検討を行う。またweb予約を導入し予約の簡便化を図っていく。

Q HPVワクチンのキャッチアップ接種者の現状と制度の周知は？

A 対象者数は17歳から26歳の女性11,697人で、接種者数は9月で4,297人(36%)の方が3回の接種を完了している。キャッチアップ接種対象者への制度の周知は、2022年度は未接種者全員に予診票と説明書を送付ホームページでキャッチアップ接種開始を周知した。本年3月には4月から開始される9価ワクチンの周知を兼ねた通知を再度送付した。また昨年度以降、専門の医師による講演会を3回実施している。

について



Q 入浴施設等における入浴着の着用の理解促進に関する取り組みは？

A 本年3月に公衆浴場や旅館、入浴施設を有するスポーツ施設、検診会場で入浴着を着用した入浴への理解を促すチラシを送付した。しかしまだ理解は充分ではないと考えている。今後は入浴施設へのポスター掲示の依頼、ホームページやケーブルTV等を活用して、一般の方に対して、広く理解を求めていく。

Q 入浴着は使い捨ても含めて助成の対象か？

A 「がん患者アピアランスサポート事業」として入浴着は使い捨てのものも含めて、乳房補整具として助成の対象となっている。わかりづらかったため今後は、医療機関で配布している案内チラシやホームページに補整具の対象を詳しく明記するなど市民にわかりやすい工夫を図っていく。

理解促進ポスター





## 交差点の 交通安全対策を実施 (豊岡地域)

107

信号も標識もない危険な状態、路面に「交差点注意」と交差点マークを塗装



## 安心安全の まちづくり

99

路面の「止まれ」の表示が経年劣化して消えていたので再塗装



スマホでQRコードを読み込むと地図が現れます。



105

赤い番号を選んでタップすると画像とコメントが表示されます。

105

子どもたちの遊び場、砂場の枠の破損を修繕



104

伸びすぎた樹木の選定・伐採を実施



## 松ヶ枝公園の整備 (宝永地域)



## 議場コンサートがおこなわれました

市民の皆様、気軽に議場へ足を運んでいただい、議会を身近に感じてもらうために2007年から不定期ですが、開催しています。毎回、好評をいただいています。



県内を拠点に活躍する「トリオ・エクラ」が出演、傍聴席は満席でした。